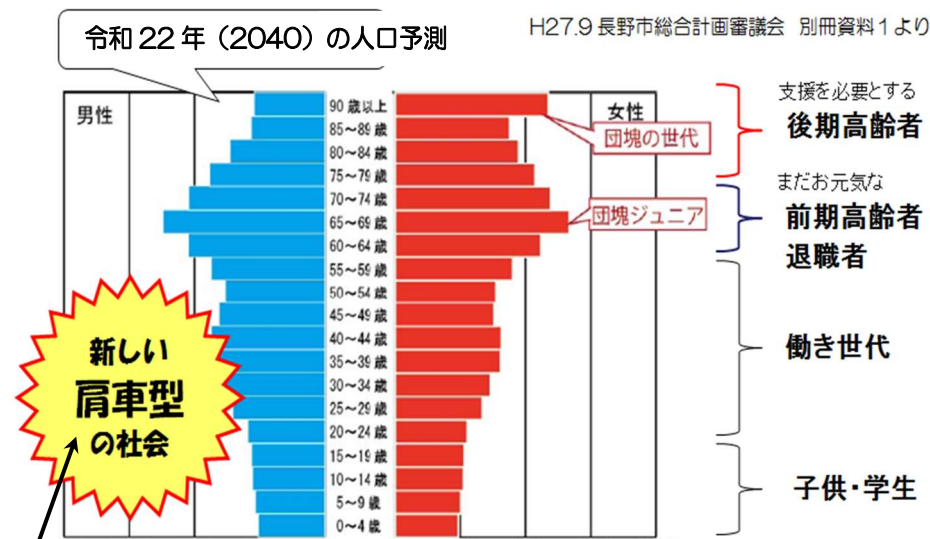


## 少子高齢化社会に備えよう

# みんなで支え合うお達者なまちづくり

少子高齢化による社会構造・保険制度の限界（2025年問題）が迫っています。  
自分が年を重ねた将来に、足腰の衰えや認知症があっても、この地域で安心して暮らせるために、今からみんなで地域を見直し、将来に備えた活動を始めましょう。



肩車型社会 = 「働き世代1名で、高齢者1名を支える」比率の社会



### 社会の変化

- ▼ 働き世代の減少
- △ 後期高齢者は増加
- ▼ 前期高齢者は減少
- \* 定年せず労働者に?

地域には75歳以上が大半  
 ⇒ 高齢者同士で支えよう

地域の支え合い以外に  
 問題解決する方法がない

## 話し合い・支え合う地域へ

お住まいの地域の状況により、「地域の課題」や「必要な支援」、「支援方法」は多様で、取り組みの優先順位も様々です。地域の皆さんで話し合い、協力し合うことが、『ここで暮らし続けることができる』地域づくりに必要です。

介護保険の総合事業の考え方（長野市はH28.10～実施）

- ★ 「交流」「維持」を目的とした参加は、地域の様々な活動で通所サービス等は、目標を達成するまでの間だけ利用する。（「要介護」認定以外の方）生活上の課題が解決した・運動方法を覚えた方は、サービスを終了し地域の活動へ。
- ★ 専門家でなくても出来ることは、地域の様々な活動で地域での見守り・声かけ等は、介護保険サービスでは対応できません。お買い物やゴミ出しを含め、地域の支え合いが必要です。

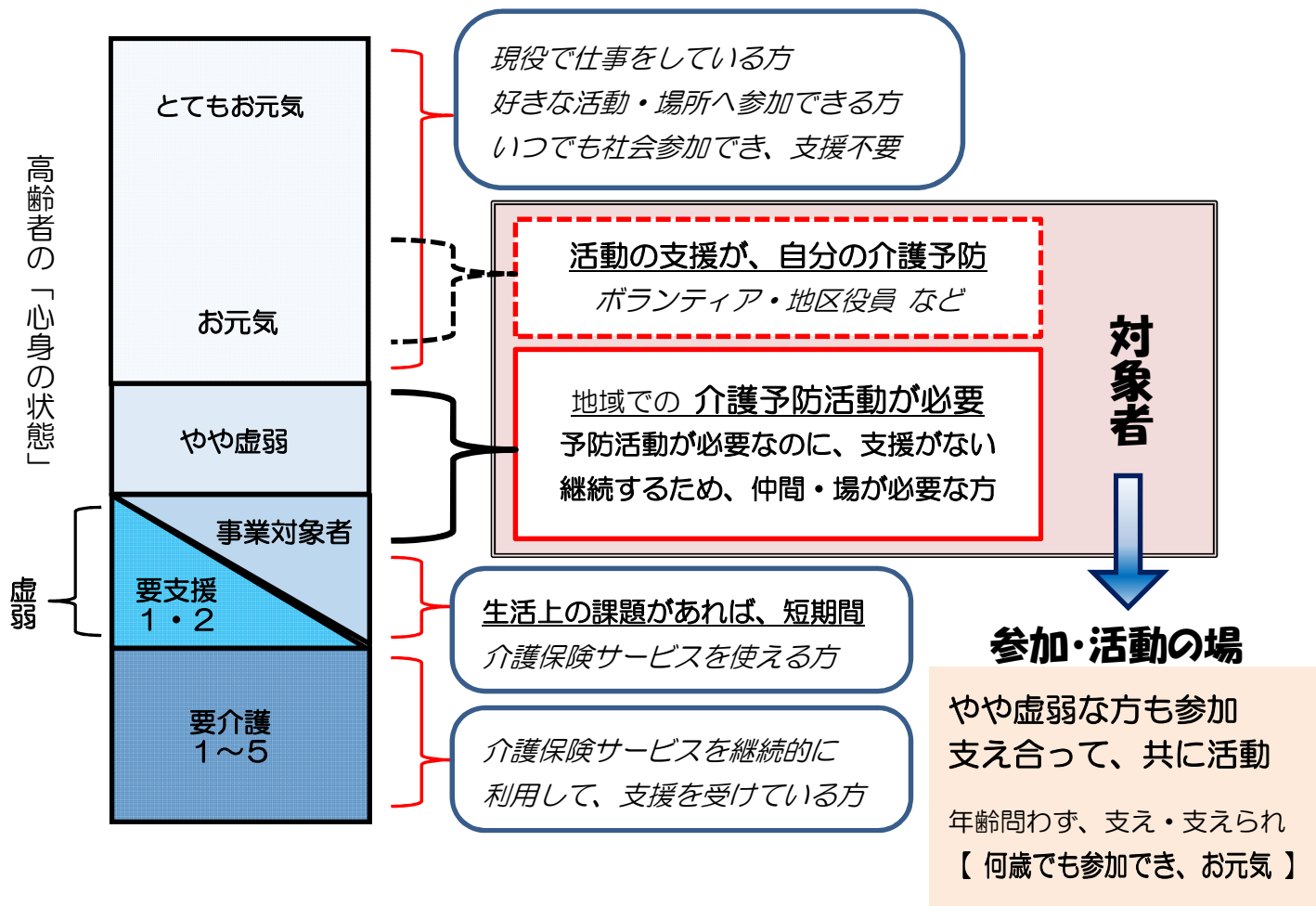
社会参加

支え合い

【 想像してください！ 】

独居・老々介護・認知症などの高齢者世帯が、年々増えています。自分が年を取り、次第に虚弱になっていく将来、お住まいの地区で、安心して暮らし続けるにはどうしたら良いか？

★ 地域に必要な「**参加・活動の場**」と、その「**対象者**」



＜ 今後は「みんなで支える地域生活」を目指そう ＞

